

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課	■担当係	水田宮農係
■評価事業名称	農業経営高度化支援事業		
■事業開始年度	平成2年度		
■評価事業コード	050200 - 023	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興	
	■施策	01 農業の生産性向上	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の実施義務(自治事務)		
■法令等の名称	経営体育成基盤整備関連流動化促進事業実施要綱		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	担い手への農地集積推進と基盤整備地区内の農地利用集積の推進		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	農業経営高度化支援事業	担い手	・業務委託契約の締結1件(和賀中部岩崎) ・農地集積等に関する会議や研修会における参加 ・説明者対応4回 ・基盤整備関連経営体育成等促進計画書計画変更1件	・業務委託契約の締結1件(和賀中部岩崎) ・農地集積等に関する会議等への参加1回 ・和賀中部岩崎担い手部会 総会、幹事会への出席3回 ・基盤整備関連経営体育成等促進計画書計画 報告書等提出2件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	1,388	1,441	1,031	555	
人件費	2,061	1,687	894	1,352	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,449	3,128	1,925	1,907	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	担い手への集積率	0.523	0.503	0.582	0.598	平成24年度より地域農業マスタープランに「地域の中心となる経営体」として位置付けられた経営体の集積率
02	事業実施地区における担い手への集積率	0.60	0.61	0.63	0.65	事業実施地区における「担い手への集積面積」÷「事業実施面積」

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
☒ B. 概ね順調
☐ C. 遅れている

達成状況の分析

和賀中部岩崎地区の事業が31年度まで延長したものの、県・市等の関係機関が引き続き支援していく。

問題点・課題等

担い手への集積率を増加すべく、関係機関が連携して支援していかなければならない。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
☒ 特定されるが多数に及ぶ
☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☒ 類似の事業はない
☐ 類似の事業はあるが競合はない
☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
☒ ニーズは変わらない
☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☒ 順位が中程度
☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☒ 順位が中程度
☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
☒ 他と同程度の事業である
☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい
☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能
☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
☒ II. 継続
☐ III. 縮小
☐ IV. 廃止・休止
☐ V. 完了